

喘息のくすり一覧

この一覧表の使用方法 (医師と患者の相互理解を深めるために)

- (1) 初診時、従来使われていた薬剤の確認に。
- (2) 投薬時、本一覧を見せながら説明することにより誤認・誤用を防げる。
- (3) 再診時、服用された薬剤の効果を正しく確認できる。
- (4) 通常用量*が示されている。

* 用量は各薬剤の通常用量のみを示しています。使用時には、添付文書を確認してください。

喘息の管理目標

I. 症状のコントロール(発作や喘息症状がない状態を保つ)

- ① 気道炎症を制御する**。
- ② 正常な呼吸機能を保つ(PEFが予測値の80%以上かつ日内変動が10%未満)。

II. 将来のリスク回避

- ① 喘息死を回避する。
- ② 急性増悪を予防する。
- ③ 呼吸機能の経年低下を抑制する。
- ④ 治療薬の副作用発現を回避する。
- ⑤ 健康寿命と生命予後を良好に保つ。

** 可能な限り呼気中一酸化窒素濃度(FeNO)測定や喀痰好酸球検査で気道炎症を評価する。

(喘息予防・管理ガイドライン2021)より

吸入用ステロイド薬・ β_2 刺激薬配合剤

レルベア
100エリプタ 14吸入用



レルベア
100エリプタ30吸入用



レルベア
200エリプタ14吸入用



レルベア
200エリプタ30吸入用



100・200エリプタ1吸入/回、1回/日(成人)

アドエア

60吸入用 100 ディスカス



250 ディスカス



500 ディスカス



50エアゾール
120吸入用



125エアゾール
120吸入用



250エアゾール
120吸入用



28吸入用 100 ディスカス



250 ディスカス



500 ディスカス



50・125・250エアゾール2吸入/回、2回/日(成人)、
50エアゾール 1~2吸入/回、2回/日(小児)

100・250・500ディスクス 1吸入/回、2回/日(成人)、100ディスクス 1吸入/回、2回/日(小児)

シムビコート
タービュヘイラー
30吸入



1~4吸入/回
2回/日(成人)

シムビコート
タービュヘイラー
60吸入



1~4吸入/回
2回/日(成人)

維持療法として1回1吸入あるいは2吸入を1日2回投与している患者は、発作発現時に本剤の頓用吸入を追加で行うことができる。

フルティフォーム
50エアゾール
56吸入用



フルティフォーム
50エアゾール
120吸入用



フルティフォーム
125エアゾール
56吸入用



フルティフォーム
125エアゾール
120吸入用



50エアゾール2吸入/回、2回/日(小児、成人)
症状に応じて、125エアゾール2~4吸入/回、2回/日(成人)

アテキュラ
吸入用カプセル低用量



アテキュラ
吸入用カプセル中用量



アテキュラ
吸入用カプセル高用量



1カプセル/回、1回/日(成人)

ブリーズヘラー



吸入用ステロイド薬・ β_2 刺激薬・
抗コリン薬配合剤

テリルジー
100エリプタ14吸入用



テリルジー
100エリプタ30吸入用



テリルジー
200エリプタ14吸入用



テリルジー
200エリプタ30吸入用



エリプタ1吸入/回、1回/日 (成人)

エナジア
吸入用カプセル中用量



エナジア
吸入用カプセル高用量



1カプセル/回、1回/日 (成人)



ブリーズヘラー



生物学的製剤

① 抗IL-5抗体製剤・抗IL-5受容体 α 鎖抗体製剤

ヌーカラ皮下注100mgペン



ヌーカラ皮下注100mgシリンジ



ファセンラ皮下注30mgシリンジ



ヌーカラ皮下注用 100mg



バイアル

小児用ヌーカラ皮下注40mgシリンジ



30mg/回、初回、4週後、8週後
に皮下注。以降8週間隔で皮下注
(成人)

ペン・シリンジ: 100mg/回、4週間ごとに皮下注 (成人、12歳以上の小児)
40mg/回、4週間ごとに皮下注 (6歳以上12歳未満の小児)

バイアル: 100mg/回、4週間ごとに皮下注 (成人、12歳以上の小児)
40mg/回、4週間ごとに皮下注 (6歳以上12歳未満の小児)

② 抗IgE抗体製剤

ゾレア皮下注用 150mg



ゾレア皮下注150mgシリンジ



ゾレア皮下注75mgシリンジ



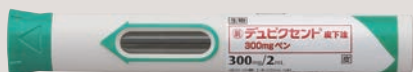
75~600mg/回、2週間または
4週間ごとに皮下注 (成人・小児)

③ 抗IL-4/13受容体 α 鎖抗体製剤

デュピクセント皮下注300mgシリンジ



デュピクセント皮下注300mgペン



初回600mg、その後300mg/回を2週間隔で皮下注
(成人、12歳以上の小児)

④ 抗TSLPモノクローナル抗体製剤

テゼスパイア皮下注210mgシリンジ



通常、成人及び12歳以上の小児にはテゼベルマブ
(遺伝子組換え)として1回210mgを4週間隔で
皮下に注射する。

吸入用ステロイド薬

アヌイティ 100 μ g
エリプタ30吸入用



100 μ g・200 μ gエリプタ1吸入/回、1回/日 (成人)

アヌイティ 200 μ g
エリプタ30吸入用



フルタイド

50 μ gエアゾール
120吸入用



100 μ gエアゾール
60吸入用



100~400 μ g/回、2回/日 (成人)
50~100 μ g/回、2回/日 (小児)

フルタイド

50 ディスカス



100 ディスカス



200 ディスカス



100~400 μ g/回、2回/日 (成人)
50~100 μ g/回、2回/日 (小児)

キュバール50
エアゾール



2吸入/回、2回/日 (成人)
1吸入/回、2回/日 (小児)

キュバール100
エアゾール



1吸入/回
2回/日 (成人)

アズマネックス
ツイストヘラー
100 μ g 60吸入



100~400 μ g/回、2回/日 (成人)

アズマネックス
ツイストヘラー
200 μ g 60吸入



オルベスコ 50 μ g
インヘラー 112吸入用



オルベスコ 100 μ g
インヘラー 56吸入用



オルベスコ 100 μ g
インヘラー 112吸入用



オルベスコ 200 μ g
インヘラー 56吸入用



100~400 μ g/回、
1回/日 (成人)
100~200 μ g/回、
1回/日 (小児)

パルミコート 100 μ g
タービュヘイラー
112吸入



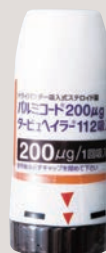
100~400 μ g/回、2回/日 (成人)

パルミコート 200 μ g
タービュヘイラー
56吸入



100~200 μ g/回、2回/日 (小児)

パルミコート 200 μ g
タービュヘイラー
112吸入



パルミコート吸入液
0.25mg 0.5mg



0.5mg/回、2回/日
または1mg/回、1回/日 (成人)
0.25mg/回、2回/日
または0.5mg/回、1回/日
(6ヵ月以上の小児)

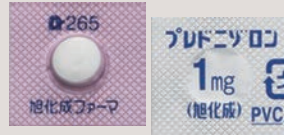
副腎皮質ステロイド薬

コートリル錠 10mg



1~12錠/日、1~4回/日 (成人)

プレドニゾン錠 1mg



5~60錠/日、1~4回/日 (成人)

プレドニゾン錠 5mg



1~12錠/日、1~4回/日 (成人)

レダコート錠 4mg

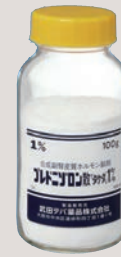


1~12錠/日、1~4回/日 (成人)

プレドニゾン錠「タケダ」5mg



1~12錠/日、1~4回/日 (成人)



プレドニゾン散「タケダ」1%

0.5~6g/日、
1~4回/日 (成人)

デカドロン錠 0.5mg



1~16錠/日、
1~4回/日 (成人)

デカドロン錠 4mg



0.5~8mg/日、
1~4回/日 (成人)

メドロール錠 2mg



2~24錠/日、
1~4回/日 (成人)

メドロール錠 4mg



1~12錠/日、
1~4回/日 (成人)

リンデロン錠 0.5mg



1~16錠/日、1~4回/日 (成人)



リンデロン散 0.1%

0.5~8mg/日、
1~4回/日 (成人)



リンデロンシロップ 0.01%

0.5~8mg/日、
1~4回/日 (成人)
0.15~4mg/日、
1~4回/日 (小児)

気管支拡張薬

① キサンチン誘導体

テオドール錠 50mg



4錠/回、2回/日 (成人)
または8錠/回、1回/日 (成人)
2~4錠/回、2回/日 (小児)

テオドール錠 100mg



2錠/回、2回/日 (成人)
または4錠/回、1回/日 (成人)
1~2錠/回、2回/日 (小児)

テオドール錠 200mg



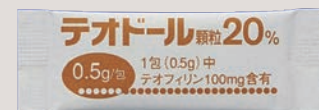
1錠/回、2回/日 (成人)
または2錠/回、1回/日 (成人)

テオロング錠 100mg



2錠/回、2回/日 (成人)
1~2錠/回、2回/日 (小児)

テオドール顆粒 20%



1g/回、2回/日 (成人)
0.5~1g/回、2回/日 (小児)

テオロング錠 50mg



4錠/回、2回/日 (成人)
2~4錠/回、2回/日 (小児)

テオロング錠 200mg



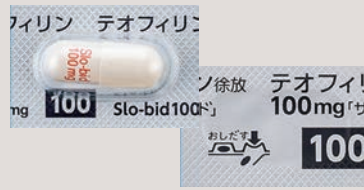
1錠/回、2回/日 (成人)

テオフィリン徐放カプセル
50mg 「サンド」



4カプセル/回、2回/日 (成人)
2~4カプセル/回、2回/日 (小児)

テオフィリン徐放カプセル
100mg 「サンド」



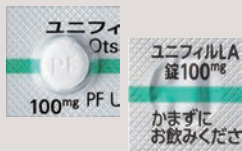
2カプセル/回、2回/日 (成人)
1~2カプセル/回、2回/日 (小児)

テオフィリン徐放カプセル
200mg 「サンド」



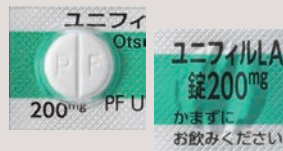
1カプセル/回、2回/日 (成人)

ユニフィルLA錠
100mg



4錠/回、1回/日 (成人)

ユニフィルLA錠
200mg



2錠/回、1回/日 (成人)

ユニフィルLA錠
400mg



1錠/回、1回/日 (成人)

ユニコン錠 100



4錠/回、1回/日 (成人)

ユニコン錠 200



2錠/回、1回/日 (成人)

ユニコン錠 400



1錠/回、1回/日 (成人)

ネオフィリン錠 100mg



3~4錠/日、3~4回/日 (成人)
2~4mg/kg/回、3~4回/日 (小児)

モノフィリン錠 100mg



2~3錠/日、2~3回/日 (成人)

② 交感神経刺激薬

セレベント
50 ディスカス



50µg/回、2回/日 (成人)

アスプールの液 (0.5%)



0.6mL/回 (成人)

ベロテックエロゾル 100



2吸入/回 (成人)

メブチンエア-
10 μ g
吸入100回



2吸入/回(成人)
1吸入/回(小児)

メブチンキッドエア-
5 μ g
吸入100回



4吸入/回(成人)
2吸入/回(小児)

メブチン
スイングヘラー
10 μ g 吸入100回



2吸入/回(成人)
1吸入/回(小児)

メブチン
吸入液
0.01%



0.3~0.5mL/回(成人)
0.1~0.3mL/回(小児)

メブチン
吸入液ユニット
0.3mL 0.5mL



メブチンミニ錠 25 μ g



2錠/回、1~2回/日(成人)
1錠/回、1~2回/日(6歳以上の小児)

メブチン顆粒
0.01%



0.5g/回、
1~2回/日(成人)
0.25g/回、
1~2回/日(6歳以上)
0.0125g/kg/回、
2~3回/日(6歳未満)

メブチンシロップ
5 μ g/mL



10mL/回、
1~2回/日(成人)
5mL/回、
1~2回/日(6歳以上)
0.25mL/kg/回、
2~3回/日(6歳未満)

メブチンドライシロップ
0.005%



1g/回、
1~2回/日(成人)
0.5g/回、
1~2回/日(6歳以上)
0.025g/kg/回、
2~3回/日(6歳未満)

メブチン錠 50 μ g



1錠/回、1~2回/日(成人)

ベネトリン錠 2mg



2錠/回、3回/日(成人)
0.3mg/kg/日、3回/日(小児)

ベネトリン吸入液0.5%



0.3~0.5mL/回(成人)
0.1~0.3mL/回(小児)

ベネトリンシロップ0.04%



0.75mL/kg/日
3回/日(乳幼児)

サルタノールインヘラー
100 μ g



2吸入/回(成人)、1吸入/回(小児)

ブリカニール錠 2mg



2錠/回、3回/日(成人)
1錠/回、3回/日(6歳以上)
1/2錠/回、3回/日(5歳以下)



ブリカニール
シロップ
0.5mg/mL

0.45mL/kg/日、
3回/日(幼児)

ホクナリンテープ



0.5mg/回、1回/日
(0.5~3歳未満)



1mg/回、1回/日
(3~9歳未満)



2mg/回、1回/日
(成人・9歳以上)

ホクナリン錠 1mg



1錠/回、2回/日(成人)

ホクナリンドライシロップ
0.1%小児用



40mg/kg/日、2回/日(小児)

■ 気管支拡張薬

ベラチン錠 1mg



1錠/回、2回/日 (成人)

ベラチンドライシロップ
小児用 0.1%



40mg/kg/日、2回/日 (小児)

スピロペント錠 10 μ g



2錠/回、2回/日 (成人)
0.3 μ g/kg/回、2回/日 (5歳以上の小児)

③ 副交感神経遮断薬

スピリーバ 1.25 μ g
レスピマット 60吸入



2吸入/回、1回/日 (成人)

スピリーバ 2.5 μ g
レスピマット 60吸入



2吸入/回、1回/日 (成人)

アトロベント
エロゾル 20 μ g



1~2吸入/回、3~4回/日 (成人)

■ 抗アレルギー薬

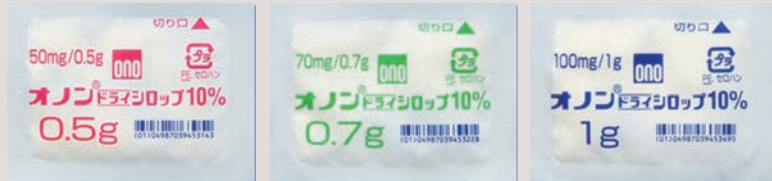
① ロイコトリエン受容体拮抗薬

オノンカプセル 112.5mg



450mg/日、2回/日 (成人)

オノンドライシロップ 10%



7mg/kg/日、2回/日 (小児)

シングレアチュアブル錠 5mg



1錠/回、1回/日 (6歳以上の小児)

シングレア錠 5mg



2錠/回、1回/日 (成人)

シングレア錠 10mg



1錠/回、1回/日 (成人)

シングレアOD錠 10mg



1錠/回、1回/日 (成人)

シングレア細粒 4mg



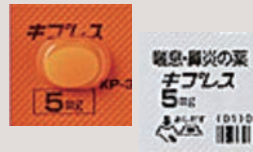
4mg/回、1回/日
(1歳以上6歳未満の小児)

キプレスチュアブル錠 5mg



1錠/回、1回/日 (6歳以上の小児)

キプレス錠 5mg



2錠/回、1回/日 (成人)

キプレス錠 10mg



1錠/回、1回/日 (成人)

キプレスOD錠 10mg



1錠/回、1回/日 (成人)

キプレス細粒 4mg



4mg/回、1回/日
(1歳以上6歳未満の小児)

② メディエーター遊離抑制薬

インタール
エアロゾル 1mg

2噴霧/回、4回/日
(成人・小児)



インタール吸入液 1%

1アンプル/回、
3~4アンプル/日



ケタスカプセル 10mg



1カプセル/回、2回/日 (成人)

リザベンカプセル 100mg



1カプセル/回、3回/日 (成人)

リザベン細粒 10%



1g/回、3回/日 (成人)
0.05g/kg/日、3回/日 (小児)

リザベンドライシロップ 5%



0.1g/kg/日、3回/日 (小児)

ペミラストン錠 5mg



1錠/回、2回/日 (5~11歳未満)

ペミラストン錠 10mg



1錠/回、2回/日 (成人・11歳以上)

ペミラストンドライシロップ 0.5%



0.2mg/kg/回、2回/日 (小児)

アレギサールドライシロップ 0.5%



0.2mg/kg/回、2回/日 (小児)

アレギサール錠 5mg



1錠/回、2回/日 (5~11歳未満)

アレギサール錠 10mg



1錠/回、2回/日 (成人・11歳以上)

③ ヒスタミンH₁拮抗薬

アゼプチン錠0.5mg



4錠/回、2回/日 (成人)

アゼプチン錠1mg



2錠/回、2回/日 (成人)

ゼスラン錠3mg



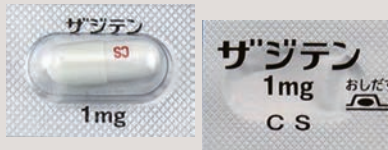
2錠/回、2回/日 (成人)

ニボラジン錠3mg



2錠/回、2回/日 (成人)

ザジテンカプセル1mg



1カプセル/回、2回/日 (成人)

アレジオン錠10



2錠/回、1回/日 (成人)

アレジオン錠20



1錠/回、1回/日 (成人)

④ トロンボキサンA₂合成阻害薬

ドメナン錠100mg



400mg/日、2回/日 (成人)

ドメナン錠200mg



400mg/日、2回/日 (成人)

⑤ トロンボキサンA₂拮抗薬

ブロニカ錠40



2錠/回、1回/日 (成人)

ブロニカ錠80



1錠/回、1回/日 (成人)

ブロニカ顆粒10%



80mg/回、
1回/日 (成人)

⑥ TH₂サイトカイン阻害薬

アイピーディカプセル50



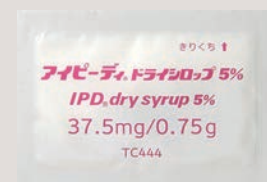
2カプセル/回、3回/日 (成人)

アイピーディカプセル100



1カプセル/回、3回/日 (成人)

アイピーディドライシロップ5%



3mg/kg/回、2回/日 (小児)

漢方製剤

ツムラ-19 (ツムラ小青竜湯エキス顆粒)



9g/日、2~3回/日 (成人)

ツムラ-29 (ツムラ麦門冬湯エキス顆粒)



9g/日、2~3回/日 (成人)

ツムラ-96 (ツムラ柴朴湯エキス顆粒)



7.5g/日、2~3回/日 (成人)

N19 (コタロー小青竜湯エキス細粒)



7.5g/日、2~3回/日 (成人)

N29 (コタロー麦門冬湯エキス細粒)



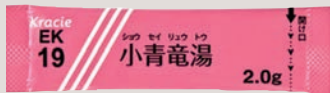
15g/日、2~3回/日 (成人)

N55 (コタロー麻杏甘石湯エキス細粒)



6g/日、2~3回/日 (成人)

EK-19 (クラシエ小青竜湯エキス細粒)



6g/日、3回/日 (成人)

EKT-19 (クラシエ小青竜湯エキス錠)



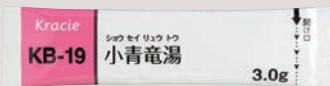
18錠/日、2~3回/日 (成人)

EK-96 (クラシエ柴朴湯エキス細粒)



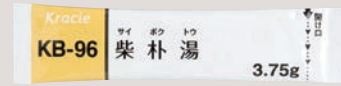
7.5g/日、3回/日 (成人)

KB-19 (クラシエ小青竜湯エキス細粒)



6g/日、2回/日 (成人)

KB-96 (クラシエ柴朴湯エキス細粒)



7.5g/日、2回/日 (成人)

去痰薬

ムコソルバン錠 15mg



1錠/回、3回/日 (成人)

ムコダイン錠 250mg



2錠/回、3回/日 (成人)

ムコダイン錠 500mg



1錠/回、3回/日 (成人)

クリアナール錠 200mg



2錠/回、3回/日 (成人)

ムコダイン DS50%



1g/回、3回/日 (成人)
0.02g/kg/回、
3回/日 (小児)

ムコダイン シロップ 5%



0.6mL/kg/日
3回/日 (幼・小児)

スペリア錠 200



2錠/回、3回/日 (成人)

「喘息のくすり」用法・用量一覧

■吸入用ステロイド薬・β₂刺激薬配合剤

レルベア 100 エリプタ 14 吸入用・レルベア 100 エリプタ 30 吸入用・レルベア 200 エリプタ 14 吸入用・レルベア 200 エリプタ 30 吸入用 (→写真は p.2)
 通常、成人にはレルベア 100 エリプタ 1 吸入 (ピランテロールとして 25 μg 及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 100 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。
 なお、症状に応じてレルベア 200 エリプタ 1 吸入 (ピランテロールとして 25 μg 及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 200 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。

アドエア 100 ディスカス 60 吸入用・アドエア 100 ディスカス 28 吸入用 (→写真は p.2)
 成人：通常、成人には 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。 ・アドエア 100 ディスカス 1 回 1 吸入
 小児：小児には、症状に応じて以下のいずれかの用法・用量に従い投与する。1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与
 ・アドエア 100 ディスカス 1 回 1 吸入

アドエア 250 ディスカス 60 吸入用・アドエア 250 ディスカス 28 吸入用 (→写真は p.2)
 成人：通常、成人には 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。 なお、症状に応じて以下のいずれかの用法・
 用量に従い投与する。1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 250 μg を 1 日 2 回吸入投与 ・アドエア 250 ディスカス 1 回 1 吸入

アドエア 500 ディスカス 60 吸入用・アドエア 500 ディスカス 28 吸入用 (→写真は p.2)
 成人：通常、成人には 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。 なお、症状に応じて以下のいずれかの用法・
 用量に従い投与する。1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 500 μg を 1 日 2 回吸入投与 ・アドエア 500 ディスカス 1 回 1 吸入

アドエア 50 エアゾール 120 吸入用 (→写真は p.2)
 成人：通常、成人には 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。 ・アドエア 50 エアゾール 1 回 2 吸入
 小児：小児には、症状に応じて以下のいずれかの用法・用量に従い投与する。 1 回サルメテロールとして 25 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 50 μg を 1 日 2 回吸入投与 ・アド
 エア 50 エアゾール 1 回 1 吸入 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与 ・アドエア 50 エアゾール 1 回 2 吸入

アドエア 125 エアゾール 120 吸入用 (→写真は p.2)
 成人：通常、成人には 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。 なお、症状に応じて以下のいずれかの用法・
 用量に従い投与する。1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 250 μg を 1 日 2 回吸入投与 ・アドエア 125 エアゾール 1 回 2 吸入

アドエア 250 エアゾール 120 吸入用 (→写真は p.2)
 成人：通常、成人には 1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。 なお、症状に応じて以下のいずれかの用法・
 用量に従い投与する。1 回サルメテロールとして 50 μg 及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして 500 μg を 1 日 2 回吸入投与 ・アドエア 250 エアゾール 1 回 2 吸入

フルティフォーム 50 エアゾール 56 吸入用・フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用・フルティフォーム 125 エアゾール 56 吸入用・フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用 (→写真は p.2)
 通常、成人には、フルティフォーム 50 エアゾール (フルチカゾンプロピオン酸エステルとして 50 μg 及びホルモテロールフマル酸塩水和物として 5 μg) を 1 回 2 吸入、1 日 2 回投与する。
 なお、症状に応じてフルティフォーム 125 エアゾール (フルチカゾンプロピオン酸エステルとして 125 μg 及びホルモテロールフマル酸塩水和物として 5 μg) を 1 回 2～4 吸入、1 日 2 回投与する。
 通常、小児には、フルティフォーム 50 エアゾール (フルチカゾンプロピオン酸エステルとして 50 μg 及びホルモテロールフマル酸塩水和物として 5 μg) を 1 回 2 吸入、1 日 2 回投与する。

シムビコートタービュヘイラー 30 吸入用・シムビコートタービュヘイラー 60 吸入用 (→写真は p.2)
 通常、成人には、維持療法として 1 回 1 吸入 (ブデソニドとして 160 μg、ホルモテロールフマル酸塩水和物として 4.5 μg) を 1 日 2 回吸入投与する。なお、症状に応じて増減するが、維持
 療法としての 1 日の最高量は 1 回 4 吸入 1 日 2 回 (合計 8 吸入：ブデソニドとして 1280 μg、ホルモテロールフマル酸塩水和物として 36 μg) までとする。維持療法として 1 回 1 吸入
 あるいは 2 吸入を 1 日 2 回投与している患者は、発作発現時に本剤の頓用吸入を追加で行うことができる。本剤を維持療法に加えて頓用吸入する場合は、発作発現時に 1 吸入する。数分経
 過しても発作が持続する場合には、さらに追加で 1 吸入する。必要に応じてこれを繰り返すが、1 回の発作発現時につき、最大 6 吸入までとする。維持療法と頓用吸入を合計した本剤の 1 日の
 最高量は、通常 8 吸入までとするが、一時的に 1 日合計 12 吸入 (ブデソニドとして 1920 μg、ホルモテロールフマル酸塩水和物として 54 μg) まで増量可能である。

アテキュラ吸入用カプセル低用量・アテキュラ吸入用カプセル中用量・アテキュラ吸入用カプセル高用量 (→写真は p.2)
 通常、成人にはアテキュラ吸入用カプセル低用量 1 回 1 カプセル (インダカテロールとして 150 μg 及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして 80 μg) を 1 日 1 回本剤専用の吸入用
 器具を用いて吸入する。なお、症状に応じて以下用量の 1 回 1 カプセルを 1 日 1 回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。
 ・アテキュラ吸入用カプセル中用量 (インダカテロールとして 150 μg 及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして 160 μg)
 ・アテキュラ吸入用カプセル高用量 (インダカテロールとして 150 μg 及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして 320 μg)

■吸入用ステロイド薬・β₂刺激薬・抗コリン薬配合剤

テリルジー 100 エリプタ 14 吸入用・テリルジー 100 エリプタ 30 吸入用・テリルジー 200 エリプタ 14 吸入用・テリルジー 200 エリプタ 30 吸入用 (→写真は p.3)
 通常、成人にはテリルジー 100 エリプタ 1 吸入 (フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 100 μg、ウメクリジニウムとして 62.5 μg 及びピランテロールとして 25 μg)
 を 1 日 1 回吸入投与する。なお、症状に応じてテリルジー 200 エリプタ 1 吸入 (フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 200 μg、ウメクリジニウムとして 62.5 μg 及
 びピランテロールとして 25 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。

エナジア吸入用カプセル中用量・エナジア吸入用カプセル高用量 (→写真は p.3)
 通常、成人にはエナジア吸入用カプセル中用量 1 回 1 カプセル (インダカテロールとして 150 μg、グリコピロニウムとして 50 μg 及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして 80 μg)
 を 1 日 1 回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。なお、症状に応じてエナジア吸入用カプセル高用量 1 回 1 カプセル (インダカテロールとして 150 μg、グリコピロニウムとして 50 μg
 及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして 160 μg) を 1 日 1 回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。

■生物学的製剤

ヌーカラ皮下注用 100mg (→写真は p.3)
 通常、成人及び 12 歳以上の小児にはメボリズマブ (遺伝子組換え) として 1 回 100mg を 4 週間ごとに皮下に注射する。
 通常、6 歳以上 12 歳未満の小児にはメボリズマブ (遺伝子組換え) として 1 回 40mg を 4 週間ごとに皮下に注射する。

ヌーカラ皮下注 100mg ペン・ヌーカラ皮下注 100mg シリンジ・小児用ヌーカラ皮下注 40mg シリンジ (→写真は p.3)
 通常、成人及び 12 歳以上の小児にはメボリズマブ (遺伝子組換え) として 1 回 100mg を 4 週間ごとに皮下に注射する。通常、6 歳以上 12 歳未満の小児にはメボリズマブ (遺
 伝子組換え) として 1 回 40mg を 4 週間ごとに皮下に注射する。 ※本剤は保護者による在宅自己注射が可能です。

ファセンラ皮下注 30mg シリンジ (→写真は p.3)
 通常、成人にはベンラリズマブ (遺伝子組換え) として 1 回 30mg を、初回、4 週後、8 週後に皮下に注射し、以降、8 週間隔で皮下に注射する。

ゾレア皮下注用 150mg・ゾレア皮下注 150mg シリンジ・ゾレア皮下注 75mg シリンジ (→写真は p.3)
 通常、オマリズマブ (遺伝子組換え) として 1 回 75～600mg を 2 又は 4 週間毎に皮下に注射する。1 回あたりの投与量並びに投与間隔は、初回投与前血清中総 IgE 濃度及び体
 重に基づき、添付文書の投与量換算表により設定する。

デュピクセント皮下注 300mg シリンジ・デュピクセント皮下注 300mg ペン (→写真は p.3)
 通常、成人及び 12 歳以上の小児にはデュピルマブ (遺伝子組換え) として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

テゼスバイア皮下注 210mg シリンジ (→写真は p.3)
 通常、成人及び 12 歳以上の小児にはテゼベルマブ (遺伝子組換え) として 1 回 210mg を 4 週間隔で皮下に注射する。

■吸入用ステロイド薬

アヌイティ 100 μg エリプタ 30 吸入用・アヌイティ 200 μg エリプタ 30 吸入用 (→写真は p.4)
 通常、成人にはアヌイティ 100 μg エリプタ 1 吸入 (フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 100 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。
 なお、症状に応じてアヌイティ 200 μg エリプタ 1 吸入 (フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 200 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。

フルタイド 50 ディスカス・フルタイド 100 ディスカス・フルタイド 200 ディスカス (→写真は p.4)
成人 (フルタイド 50 ディスカス、フルタイド 100 ディスカス、フルタイド 200 ディスカス)
 成人には、フルチカゾンプロピオン酸エステルとして通常 1 回 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1 日の最大投与量は 800 μg を限度とする。
小児 (フルタイド 50 ディスカス、フルタイド 100 ディスカス)
 小児には、フルチカゾンプロピオン酸エステルとして通常 1 回 50 μg を 1 日 2 回吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1 日の最大投与量は 200 μg を限度とする。

フルタイド 50 μg エアゾール 120 吸入用・フルタイド 100 μg エアゾール 60 吸入用 (→写真は p.4)
 成人には、フルチカゾンプロピオン酸エステルとして通常 1 回 100 μg を 1 日 2 回吸入投与する。小児には、フルチカゾンプロピオン酸エステルとして通常 1 回 50 μg を 1 日
 2 回吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1 日の最大投与量は成人では 800 μg、小児では 200 μg を限度とする。

キューバル 50 エアゾール・キューバル 100 エアゾール (→写真は p.4)
 成人には、通常 1 回 100 μg を 1 日 2 回口腔内に噴霧吸入する。小児には、通常 1 回 50 μg を 1 日 2 回口腔内に噴霧吸入する。
 なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日の最大投与量は、成人では 800 μg、小児では 200 μg を限度とする。

<p>アズマネックスツイストヘラー 100 μg 60吸入・アズマネックスツイストヘラー 200 μg 60吸入 (⇒写真は p.4) 通常、成人にはモメタゾンフランカルボン酸エステルとして1回100 μgを1日2回吸入投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日の最大投与量は800 μgを限度とする。</p>
<p>オルベスコ50 μg インヘラー 112吸入用・オルベスコ100 μg インヘラー 56吸入用・オルベスコ100 μg インヘラー 112吸入用・オルベスコ200 μg インヘラー 56吸入用 (⇒写真は p.4) 成人：通常、成人にはシクレソニドとして100～400 μgを1日1回吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日の最大投与量は800 μgとする。また、1日に800 μgを投与する場合は、朝、夜の1日2回に分けて投与する。 小児：通常、小児にはシクレソニドとして100～200 μgを1日1回吸入投与する。なお、良好に症状がコントロールされている場合は50 μg 1日1回まで減量できる。</p>
<p>バルミコート 100 μg タービュヘイラー 112吸入・バルミコート 200 μg タービュヘイラー 56吸入・バルミコート 200 μg タービュヘイラー 112吸入 (⇒写真は p.4) 成人：通常、成人には、ブデソニドとして1回100～400 μgを1日2回吸入投与する。なお、症状に応じて増減するが、1日の最高量は1600 μgまでとする。 小児：通常、小児には、ブデソニドとして1回100～200 μgを1日2回吸入投与する。なお、症状に応じて増減するが、1日の最高量は800 μgまでとする。また、良好に症状がコントロールされている場合は100 μg 1日1回まで減量できる。</p>
<p>バルミコート吸入液 0.25mg・バルミコート吸入液 0.5mg (⇒写真は p.4) 通常、成人にはブデソニドとして0.5mgを1日2回または1mgを1日1回、ネブライザーを用いて吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日の最高量は2mgまでとする。 通常、小児にはブデソニドとして0.25mgを1日2回または0.5mgを1日1回、ネブライザーを用いて吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日の最高量は1mgまでとする。</p>

■副腎皮質ステロイド薬

<p>コートリル錠 10mg (⇒写真は p.5) 通常、成人にはヒドロコルチゾンとして1日10～120mgを1～4回に分割して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>プレドニゾン錠 1mg・プレドニゾン錠 5mg (⇒写真は p.5) 通常、成人にはプレドニゾンとして1日5～60mgを1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>プレドニゾン錠「タケダ」5mg・プレドニゾン散「タケダ」1% (⇒写真は p.5) 通常、成人にはプレドニゾンとして1日5～60mg(錠剤の場合1～12錠、散の場合0.5～6g)を1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>レダコート錠 4mg (⇒写真は p.5) トリアムシノロンとして、通常成人1日4～48mg(1～12錠)を1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>デカドロン錠 0.5mg・デカドロン錠 4mg (⇒写真は p.5) デキサメタゾンとして、通常成人1日0.5～8mgを1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メドロール錠 2mg・メドロール錠 4mg (⇒写真は p.5) 通常、成人にはメチルプレドニゾンとして1日4～48mgを1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>リンデロン錠 0.5mg・リンデロン散 0.1%・リンデロンシロップ 0.01% (⇒写真は p.5) [錠剤・散剤] 通常、成人にはベタメタゾンとして1日0.5～8mgを1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 [シロップ剤] 通常、成人にはベタメタゾンとして1日0.5～8mgを1～4回に分割経口投与する。小児には、1日0.15～4mgを1～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>

■気管支拡張薬

①キサンチン誘導体

<p>テオドール錠 50mg (⇒写真は p.5) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤4錠)を、小児1回100～200mg(本剤2～4錠)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤8錠)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>テオドール錠 100mg (⇒写真は p.5) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤2錠)を、小児1回100～200mg(本剤1～2錠)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤4錠)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状に依り適宜増減する。</p>
<p>テオドール錠 200mg (⇒写真は p.5) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤1錠)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤2錠)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状に依り適宜増減する。</p>
<p>テオドール顆粒 20% (⇒写真は p.5) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤1g)を、小児1回100～200mg(本剤0.5～1g)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤2g)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>テオロン錠 50mg (⇒写真は p.5) 通常成人には1回4錠を、小児には1回2～4錠を1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>テオロン錠 100mg (⇒写真は p.5) 通常成人には1回2錠を、小児には1回1～2錠を1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>テオロン錠 200mg (⇒写真は p.5) 通常成人には1回1錠を1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>テオフィリン徐放カプセル 50mg「サンド」 (⇒写真は p.6) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤4カプセル)を、小児1回100～200mg(本剤2～4カプセル)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤8カプセル)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状に依り適宜増減する。</p>
<p>テオフィリン徐放カプセル 100mg「サンド」 (⇒写真は p.6) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤2カプセル)を、小児1回100～200mg(本剤1～2カプセル)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤4カプセル)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状に依り適宜増減する。</p>
<p>テオフィリン徐放カプセル 200mg「サンド」 (⇒写真は p.6) 通常、テオフィリンとして、成人1回200mg(本剤1カプセル)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人1回400mg(本剤2カプセル)を、1日1回就寝前に経口投与することもできる。なお、年齢、症状に依り適宜増減する。</p>
<p>ユニフィル LA 錠 100mg・ユニフィル LA 錠 200mg・ユニフィル LA 錠 400mg (⇒写真は p.6) 通常、成人にはテオフィリンとして400mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。</p>
<p>ユニコン錠 100・ユニコン錠 200・ユニコン錠 400 (⇒写真は p.6) 通常、成人にはテオフィリンとして400mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。</p>
<p>ネオフィリン錠 100mg (⇒写真は p.6) 通常成人は、1日3～4錠(アミノフィリン水和物として1日300～400mg)を3～4回に分割経口投与する。小児には、アミノフィリン水和物として1回2～4mg/kgを1日3～4回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>モノフィリン錠 100mg (⇒写真は p.6) プロキシフィリンとして、通常成人1日200～300mgを2～3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>

②交感神経刺激薬

<p>セレベント 50 ディスカス (⇒写真は p.6) 成人にはサルメテロールとして1回50 μgを1日2回朝および就寝前に吸入投与する。</p>
<p>アスブル液 (0.5%) (⇒写真は p.6) ネブライザーなどを用い、通常、成人1回0.5%液0.6mL(イソプレナリン塩酸塩として3mg)を自然呼吸下3～10分でエアゾル吸入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ペロテックエアゾル 100 (⇒写真は p.6) 通常1回2吸入(フェノテロール臭化水素酸塩として0.2mg)する。成人には2～5分間たつて効果が不十分な場合はさらに1～2吸入する。</p>
<p>メプチンエア 10 μ吸入 100回 (⇒写真は p.7) プロカテロール塩酸塩水和物として、通常成人1回20 μg(2吸入)、小児1回10 μg(1吸入)を吸入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メプチンキッドエア 5 μ吸入 100回 (⇒写真は p.7) プロカテロール塩酸塩水和物として、通常成人1回20 μg(4吸入)、小児1回10 μg(2吸入)を吸入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メプチンシングヘラー 10 μg 吸入 100回 (⇒写真は p.7) プロカテロール塩酸塩水和物として、通常成人1回20 μg(2吸入)、小児1回10 μg(1吸入)を吸入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>

<p>メブチン吸入液 0.01%・メブチン吸入液ユニット 0.3mL・メブチン吸入液ユニット 0.5mL (→写真は p.7) プロカテロール塩酸塩水和物として、通常成人 1 回 30～50 μg (0.3～0.5mL)、小児 1 回 10～30 μg (0.1～0.3mL) を深呼吸しながらネブライザーを用いて吸入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メブチンミニ錠 25 μg (→写真は p.7) 通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 50 μg (2 錠) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。6 歳以上の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 25 μg (1 錠) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メブチン錠 50 μg (→写真は p.7) 通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 50 μg (1 錠) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メブチン顆粒 0.01% (→写真は p.7) 通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 50 μg (顆粒として 0.5g) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。 6 歳以上の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 25 μg (顆粒として 0.25g) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。 6 歳未満の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 1.25 μg/kg (顆粒として 0.0125g/kg) を 1 日 2 回、朝及び就寝前ないしは 1 日 3 回、朝、昼及び就寝前に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メブチンシロップ 5 μg/mL (→写真は p.7) 通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 50 μg (シロップとして 10mL) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。 6 歳以上の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 25 μg (シロップとして 5mL) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。 6 歳未満の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 1.25 μg/kg (シロップとして 0.25mL/kg) を 1 日 2 回、朝及び就寝前ないしは 1 日 3 回、朝、昼及び就寝前に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>メブチンドライシロップ 0.005% (→写真は p.7) 通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 50 μg (ドライシロップとして 1g) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に用時溶解して経口投与する。 6 歳以上の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 25 μg (ドライシロップとして 0.5g) を 1 日 1 回就寝前ないしは 1 日 2 回、朝及び就寝前に用時溶解して経口投与する。 6 歳未満の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として 1 回 1.25 μg/kg (ドライシロップとして 0.025g/kg) を 1 日 2 回、朝及び就寝前ないしは 1 日 3 回、朝、昼及び就寝前に用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ベネトリン錠 2 mg (→写真は p.7) 通常成人 1 回 2 錠 (サルブタモールとして 4 mg) 1 日 3 回経口投与し、症状の激しい場合には 1 回 4 錠 (サルブタモールとして 8 mg) 1 日 3 回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減するが、小児の標準投与量は 1 日サルブタモールとして 0.3mg/kg を 3 回に分けて経口投与する。</p>
<p>ベネトリン吸入液 0.5% (→写真は p.7) 通常成人 1 回 0.3～0.5mL (サルブタモールとして 1.5～2.5mg)、小児は 1 回 0.1～0.3mL (サルブタモールとして 0.5～1.5mg) を深呼吸しながら吸入器を用いて吸入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ベネトリンシロップ 0.04% (→写真は p.7) 通常、乳幼児に対し、1 日 0.75mL (サルブタモールとして 0.3mg) /kg を 3 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、標準投与量は、添付文書による。</p>
<p>サルタノールインヘラー 100 μg (→写真は p.7) サルブタモールとして、通常成人 1 回 200 μg (2 吸入)、小児 1 回 100 μg (1 吸入) を吸入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ブリカニール錠 2mg (→写真は p.7) 通常 1 回量として、下記用量を 1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。 成人：2 錠 (4mg) 6 歳以上の小児：1 錠 (2mg) 5 歳以下の幼児：1/2 錠 (1mg) () 内：テルブタリン硫酸塩としての用量</p>
<p>ブリカニールシロップ 0.5mg/mL (→写真は p.7) 通常小児に対して、1 日量として 0.45mL/kg (テルブタリン硫酸塩として 0.225mg/kg) を 3 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 年齢別用量の目安は添付文書による。</p>
<p>ホクナリンテープ 0.5 mg・ホクナリンテープ 1 mg・ホクナリンテープ 2 mg (→写真は p.7) 通常、成人にはツロブテロールとして 2 mg、小児にはツロブテロールとして 0.5～3 歳未満には 0.5 mg、3～9 歳未満には 1 mg、9 歳以上には 2 mg を 1 日 1 回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付する。</p>
<p>ホクナリン錠 1mg (→写真は p.7) 通常、成人 1 回 1 錠、1 日 2 回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ホクナリンドライシロップ 0.1%小児用 (→写真は p.7) 通常、小児に対し、ドライシロップとして、1 日 40mg/kg (ツロブテロール塩酸塩として 0.04mg/kg) を 2 回に分け、用時溶解して経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。なお、標準投与量は、添付文書による。</p>
<p>ベラチン錠 1 mg (→写真は p.8) 通常、成人 1 回 1 錠 (ツロブテロール塩酸塩として 1 mg)、1 日 2 回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ベラチンドライシロップ小児用 0.1% (→写真は p.8) 通常、小児に対し、ドライシロップとして、1 日 40mg/kg (ツロブテロール塩酸塩として 0.04mg/kg) を 2 回に分け、用時溶解して経口投与する。 ただし、年齢、症状により適宜増減する。なお、標準投与量は、添付文書による。</p>
<p>スピロベント錠 10 μg (→写真は p.8) 通常、成人には 1 回クレブテロール塩酸塩として 20 μg を 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。頓用として、通常、成人には 1 回クレブテロール塩酸塩として 20 μg を経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。5 歳以上の小児には、1 回クレブテロール塩酸塩として 0.3 μg/kg を 1 日 2 回、朝及び就寝前に経口投与する。頓用として、5 歳以上の小児には通常、1 回クレブテロール塩酸塩として 0.3 μg/kg を経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。本剤の頓用を反復しなければならない場合には、早急に医師の指示を受けさせること。</p>
<p>③副交感神経遮断薬</p>
<p>スピリーバ 1.25 μg レスピマット 60 吸入・スピリーバ 2.5 μg レスピマット 60 吸入 (→写真は p.8) 通常、成人にはスピリーバ 1.25 μg レスピマット 1 回 2 吸入 (チオトロピウムとして 2.5 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。 なお、症状・重症度に応じて、スピリーバ 2.5 μg レスピマット 1 回 2 吸入 (チオトロピウムとして 5 μg) を 1 日 1 回吸入投与する。</p>
<p>アトロベントエロゾル 20 μg (→写真は p.8) 専用のアダプターを用いて、通常、1 回 1～2 噴射 (イプラトロピウム臭化物として 20～40 μg) を 1 日 3～4 回吸入投与する。なお、症状により適宜増減する。</p>
<p>■抗アレルギー薬</p>
<p>①ロイコトリエン受容体拮抗薬</p>
<p>オノンカプセル 112.5 mg (→写真は p.8) 通常、成人にはブランカスト水和物として 1 日量 450mg (本剤 4 カプセル) を朝食後及び夕食後の 2 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>オノンドライシロップ 10% (→写真は p.8) 通常、小児にはブランカスト水和物として 1 日量 7mg/kg (ドライシロップとして 70mg/kg) を朝食後および夕食後の 2 回に分け、用時懸濁して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。1 日最高用量はブランカスト水和物として 10mg/kg (ドライシロップとして 100mg/kg) とする。ただし、ブランカスト水和物として成人の通常の用量である 450mg/日 (ドライシロップとして 4.5g/日) を超えないこと。体重別の標準投与量は、添付文書による。</p>
<p>シングレアチュアブル錠 5mg (→写真は p.8) 通常、6 歳以上の小児にはモンテルカストとして 5mg を 1 日 1 回就寝前に経口投与する。</p>
<p>シングレア錠 5 mg・シングレア錠 10mg・シングレア OD 錠 10mg (→写真は p.8) 通常、成人にはモンテルカストとして 10 mg を 1 日 1 回就寝前に経口投与する。</p>
<p>シングレア細粒 4mg (→写真は p.8) 通常、1 歳以上 6 歳未満の小児にはモンテルカストとして 4mg (本剤 1 包) を 1 日 1 回就寝前に経口投与する。</p>
<p>キプレスチュアブル錠 5mg (→写真は p.9) 通常、6 歳以上の小児にはモンテルカストとして 5 mg を 1 日 1 回就寝前に経口投与する。</p>
<p>キプレス錠 5mg・キプレス錠 10mg・キプレス OD 錠 10mg (→写真は p.9) 通常、成人にはモンテルカストとして 10mg を 1 日 1 回就寝前に経口投与する。</p>
<p>キプレス細粒 4mg (→写真は p.9) 通常、1 歳以上 6 歳未満の小児にはモンテルカストとして 4mg (本剤 1 包) を 1 日 1 回就寝前に経口投与する。</p>
<p>②メディエーター遊離抑制薬</p>
<p>インターールエアロゾル 1 mg (→写真は p.9) 1 回 2 噴霧 (クロモグリク酸ナトリウムとして 2mg)、1 日 4 回(朝、昼、夕及び就寝前)吸入する。症状の緩解が得られれば、その後の経過を観察しながら 1 日 2～3 回に減量すること。</p>

<p>インター吸入液 1% (→写真は p.9) 朝、昼及び就寝前ないしは朝、昼、夕及び就寝前 1 回 1 アンプル (クロモグリク酸ナトリウムとして 20mg) ずつ、1 日 3～4 アンプルを電動式ネブライザーを用いて吸入する。症状の緩解が得られれば、その後の経過を観察しながら 1 日 2～3 アンプルに減量すること。</p>
<p>ケタスカプセル 10mg (→写真は p.9) イブジラストとして通常、成人には 1 回 10mg を 1 日 2 回経口投与する。</p>
<p>リザベンカプセル 100mg (→写真は p.9) 通常、成人には 1 回 1 カプセル (トラニラストとして 100mg) を 1 日 3 回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>リザベン細粒 10% (→写真は p.9) 通常、成人には 1 回 1g (トラニラストとして 100mg) を 1 日 3 回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。通常、小児には 1 日量 0.05g/kg (トラニラストとして 5mg/kg) を 3 回に分けて経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>リザベンドライシロップ 5% (→写真は p.9) 通常、小児には 1 日量 0.1g/kg (トラニラストとして 5mg/kg) を 3 回に分け、用時懸濁して経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ペミラストン錠 5mg・ペミラストン錠 10mg (→写真は p.9) 通常、成人にはペミロラストカリウムとして 1 回 10mg を 1 日 2 回、朝食後及び夕食後 (又は就寝前) に経口投与する。小児においては、通常、下記の年齢別投与量を 1 回量とし、1 日 2 回、朝食後及び夕食後 (又は就寝前) に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 <年齢> 5 歳以上 11 歳未満 (1 回投与量) ペミロラストカリウムとして 5mg 11 歳以上 ペミロラストカリウムとして 10mg</p>
<p>ペミラストンドライシロップ 0.5% (→写真は p.9) 通常、小児にはペミロラストカリウムとして 1 回 0.2mg/kg を 1 日 2 回、朝食後及び就寝前に、用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。年齢別の標準投与量は、添付文書による。</p>
<p>アレギサル錠 5mg・アレギサル錠 10mg (→写真は p.9) 通常、成人にはペミロラストカリウムとして 1 回 10mg を 1 日 2 回、朝食後及び夕食後 (又は就寝前) に経口投与する。小児においては、通常、下記の年齢別投与量を 1 回量とし、1 日 2 回、朝食後及び夕食後 (又は就寝前) に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 <年齢> 5 歳以上 11 歳未満 (1 回投与量) ペミロラストカリウムとして 5mg 11 歳以上 ペミロラストカリウムとして 10mg</p>
<p>アレギサールドライシロップ 0.5% (→写真は p.9) 通常、小児にはペミロラストカリウムとして 1 回 0.2mg/kg を 1 日 2 回、朝食後及び就寝前に、用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。年齢別の標準投与量は、添付文書による。</p>
<p>③ヒスタミン H₁ 拮抗薬</p>
<p>アゼプチン錠 0.5mg・アゼプチン錠 1mg (→写真は p.10) 通常、アゼラスチン塩酸塩として 1 回 2mg を、朝食後及び就寝前の 1 日 2 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ゼスラン錠 3mg (→写真は p.10) 通常成人 1 回メキタジンとして 6mg を 1 日 2 回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。</p>
<p>ニボラジン錠 3mg (→写真は p.10) 通常成人 1 回 2 錠 (メキタジンとして 6mg) を 1 日 2 回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。</p>
<p>ザジテンカプセル 1mg (→写真は p.10) 通常、成人にはケトチフェンとして 1 回 1mg (1 カプセル) を 1 日 2 回、朝食後及び就寝前に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。</p>
<p>アレジオン錠 10・アレジオン錠 20 (→写真は p.10) 通常、成人にはエピナスチン塩酸塩として 1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>④トロンボキササン A₂ 合成阻害薬</p>
<p>ドメナン錠 100mg・ドメナン錠 200mg (→写真は p.10) 通常、成人にはオザグレル塩酸塩水和物として 1 日量 400mg (100mg 錠 4 錠又は 200mg 錠 2 錠) を朝食後及び就寝前の 2 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>⑤トロンボキササン A₂ 拮抗薬</p>
<p>プロニカ錠 40・プロニカ錠 80・プロニカ顆粒 10% (→写真は p.10) 通常、成人にはセラトロダストとして 80mg を 1 日 1 回、夕食後に経口投与する。</p>
<p>⑥ TH₂ サイトカイン阻害薬</p>
<p>アイピーディカプセル 50・アイピーディカプセル 100 (→写真は p.10) 通常、成人にはスプラタストシル酸塩として 1 回 100mg を 1 日 3 回毎食後に経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>アイピーディドドライシロップ 5% (→写真は p.10) 通常、小児にはスプラタストシル酸塩として 1 回 3mg/kg を 1 日 2 回朝食後及び夕食後に、用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1 日投与量はドライシロップとして 6.0g (スプラタストシル酸塩として成人の通常の 1 日用量 300mg) を超えないこと。年齢別の標準投与量は添付文書による。</p>

■漢方製剤

<p>ツムラ-19 (ツムラ小青竜湯エキス顆粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 9.0g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>ツムラ-29 (ツムラ麦門冬湯エキス顆粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 9.0g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>ツムラ-96 (ツムラ柴朴湯エキス顆粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>N19 (コタロー小青竜湯エキス細粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>N29 (コタロー麦門冬湯エキス細粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 15.0g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>N55 (コタロー麻杏甘石湯エキス細粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 6.0g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>EK-19・KB-19 (クラシエ小青竜湯エキス細粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 6.0g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>EKT-19 (クラシエ小青竜湯エキス錠) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 18 錠を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>EK-96・KB-19 (クラシエ柴朴湯エキス細粒) (→写真は p.11) 通常、成人 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>

■去痰薬

<p>ムコソルバン錠 15mg (→写真は p.11) 通常、成人には 1 回 1 錠 (アンプロキソール塩酸塩として 15.0mg) を 1 日 3 回経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。</p>
<p>ムコダイン錠 250mg・ムコダイン錠 500mg (→写真は p.11) カルボシステインとして、通常成人 1 回 500mg を 1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ムコダイン DS50% (→写真は p.11) <成人> 通常、成人にカルボシステインとして 1 回 500mg (本剤 1.0g) を用時懸濁し、1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 <小児> 通常、幼・小児にカルボシステインとして体重 kg 当たり 1 回 10mg (本剤 0.02g) を用時懸濁し、1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>ムコダインシロップ 5% (→写真は p.11) 通常、幼・小児に、体重 kg 当り、カルボシステインとして 1 日 30mg (本剤 0.6mL) を 3 回に分けて経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>
<p>クリアナール錠 200mg (→写真は p.11) 通常、成人にはフドステインとして 1 回 400mg を 1 日 3 回食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
<p>スベリア錠 200 (→写真は p.11) 通常、成人にはフドステインとして 1 回 400mg を 1 日 3 回食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>

*本一覧の掲載薬剤は原則として、選択は『喘息予防・管理ガイドライン2021』により、薬剤写真は各製造販売元の許可のもとホームページより転載させていただきました。また必要に応じて新薬を追加しました。用法用量は、2023年3月現在での各製品の通常用量によります。各薬剤の詳細な情報は最新の添付文書、または 製造販売元等が提供する医療従事者向け情報サイトをご確認ください。

喘息のくすり一覧

発行／ライフサイエンス出版
〒105-0014 東京都港区芝3-5-2 TEL (03) 6275-1522
提供／グラクソ・スミスクライン株式会社

© Life Science Publishing, 2023